

# 近代日本と「満州国」

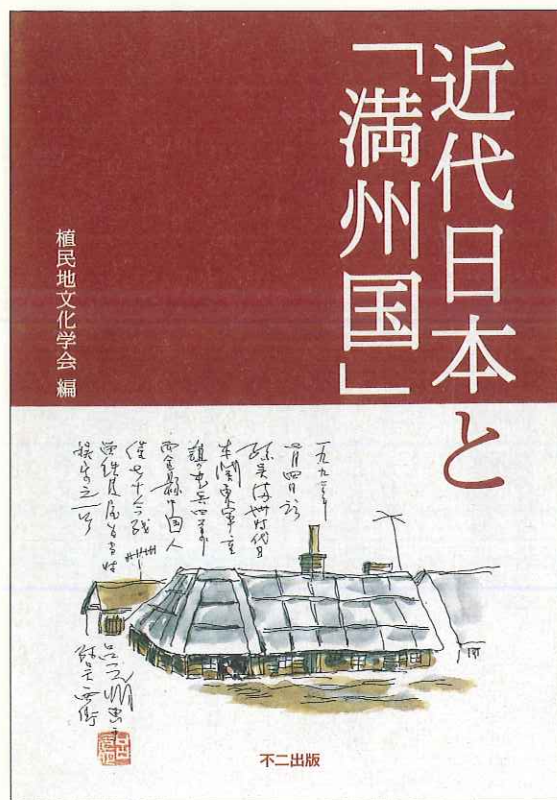
植民地文化学会 編

日本近代史と文学史の空白を埋める  
「満州国」研究の結実。

5年間に及ぶ日中共同研究の成果！

本書は、1992年から1996年まで5年間にわたり開催された、日本と中国の「被害と加害」の歴史を文化的側面から検証するシンポジウム「日本帝国主義と《満州国》の文化」（第2回以降は「近代日本と《満州》」）の報告をまとめたものである。

「満州国」文化研究の画期となったこのシンポジウムの成果は20余年たった今でも色あせることはない。「満州国」研究者、文学研究者必携の一冊。



※弊社は注文制です。お近くの書店へご注文ください。

A5判・592頁・上製本  
2014年7月刊行  
定価 本体6,000円+税  
ISBN978-4-8350-7695-9 C0021

不二出版

〒113-0023 東京都文京区向丘1-2-12 Tel. 03(3812)4433 FAX. 03(3812)4464  
<http://www.fujishuppan.co.jp> E-mail. [administrator@fujishuppan.co.jp](mailto:administrator@fujishuppan.co.jp)

注文カード

帖合・貴店名

注文数

冊

不二出版

植民地文化学会 編

近代日本と「満州国」

定価 本体6,000円+税

ISBN 978-4-8350-7695-9 C0021

お名前

お電話

注文 年 月 日



目次〈抄録〉

はじめに……近代日本史は日本から見ただけでは分からない 西田勝

……プロローグ

第1回シンポジウム 開会の挨拶(中国) 新しい情報と熱い友情 王承礼

第1回シンポジウム 開会の挨拶(日本) 中国女性の靴一足 西田勝

第一部『幽囚録』から「残留孤児」まで

……近代日本の中国東北侵略計画 大江志乃夫

日本近代史にとつての「満州」 大江志乃夫

『幽囚録』と満蒙開拓計画 井出孫六

張作霖と日本 孫継武

「満州」と天皇制 中村政則

……「満州国」の諸相

「満映」日本帝国主義による文化侵略活動の史的証憑 胡昶

東北淪陥期の新聞事業 張貴

……大虐殺と抗日戦争

日本侵略者による中国東北各民族大虐殺 霍燎原

中国東北における抗日戦争とその歴史的位置 王承礼

……「開拓団」と「残留孤児」

中国「残留孤児」はなぜ生まれたか 林郁

長野県と「満州国」 上條宏之

「満州」移民熱低下をくい止めるべく書かれた小説 堀井正子

……何から出発すべきか

植民地育ちの視点 澤地久枝

「堅実な末路」もと兵士はかたる「木」

「春の来訪者」中国残留孤児を迎えて(詩) 高良留美子

第二部日中の文学者たち

……近・現代日本文学と中国東北

小林多喜二・平野謙と「満州」の問題 杉野要吉

「先遣隊」をめぐる徳富蘇峰と徳永直 中村青史

抵抗と挫折の果てに——葉山嘉樹と「満州」 浅田隆

安部公房と「満州」 山田博光

……現代日本文学史の空白部分

……合作社運動と野川隆の文学表現 坂本正博

横田文子の文学——「満州」で描いた作品を中心に 東栄蔵

……中国人作家たちの抵抗

……東北淪陥期における抗日思想文化闘争 呂元明

東北郷土文学の主張とその後 梁山丁

「満州国」の創作環境と技巧 岡田英樹

……研究の歩み

……日本における「満州文学」研究の現状 川村湊

……歴史認識の甘さへの反省 上條宏之

執筆者一覧〈収録順〉

西田勝 馮伯陽 陳隄 根岸一成

王承礼 張貴 澤地久枝 東栄蔵

大江志乃夫 逢増玉 高良留美子 周海林

井出孫六 岡田英樹 呂元明 梁山丁

孫継武 霍燎原 香内信子 馮為群

中村政則 高橋武智 寺田清市 田中益三

李茂傑 李亜泉 杉野要吉 李春燕

劉含堯 王文鋒 中村青史 劉丹華

鄭敏 林郁 浅田隆 川村湊

孫継英 小川津根子 布野栄一 菊地薫

孫玉玲 上條宏之 浦田義和 谷本澄子

胡昶 小松芳郎 山田博光

韓岡覚 堀井正子 坂本正博

呂金藻 趙東輝 原武哲

関連図書

植民地文化研究会編 (現・植民地文化学会)

《満洲国》文化細目

A5判・上製本・850頁  
定価 本体6,800円+税  
2005年6月刊行  
ISBN978-4-8350-4157-5

●編集委員  
岡田英樹・西田 勝・西原和海

《満洲国》には、どのような文化があったか？  
570点余の文学中心の書籍を通して、その全貌に迫る書誌・解題の集大成。《満洲国》文化研究の必携書！

趙夢雲 編・著

「日本近代文学における上海」研究文献目録

1840年—1945年

A5判・上製本・260頁  
定価 本体5,800円+税  
2014年2月刊行  
ISBN978-4-8350-7619-5

本書は1840年から1945年までの間に日本人によって発表された上海を舞台とする小説、脚本、紀行、随筆、回想、従軍記、ルポルタージュ、詩及び上海に関する人文・社会関係の資料を年表形式で網羅した。当時の社会情勢や文芸事象も付された本書は、単なる文献目録としてだけではなく、日本と上海との関係を通覧することができる案内書でもある。